



## 中国語サークル

- 年間の活動**
- 4月 お花見
  - 6月 手打ちうどんパーティー
  - 8月 中華まんパーティー
  - 9月 中国研修旅行
  - 10月 中国語弁論大会
  - 12月 餃子パーティー
- 部活**
- 水曜日: 18:00~19:00 中国語講座
  - 総合科学部1号館2階カルチャラウンジ
  - 入部方法: 部活の見学に来て下さい

部長  
**住田 雄佑** (すみだ ゆうすけ)  
総合科学部 人間文化学科 3年

### 部長アピール

「你好! 私たち中国語サークルは毎週水曜日18時から19時、1号館2階カルチャラウンジで活動しています。「旅行で使えるフレーズ」「最近流行っている言葉」など毎回生きた中国語を留学生が教えてくれます。分からないところは丁寧に教えてくれるので検定試験の勉強も行うことができます。定期的に留学生と手打ちうどんや肉まん、餃子などを作るイベントも企画しているので国際交流に興味のある方はぜひお越しください! カルチャラウンジでは同時に韓国語サークルも活動しています。アジアから友達の輪を広げませんか? 部員一同、お待ちしております(^-^)/歓迎歓迎!」



## バレーボール部



男子部長  
**山岡 祐也**  
(やまおか ゆうや)  
工学部  
電気電子工学科  
4年

女子部長  
**高岡 美沙希**  
(たかおか みさき)  
総合科学部  
人間文化学科  
4年

### 部長アピール

「現在は全員一丸となって春の大会に向けて頑張っています。ぜひ見学に来て下さい。週3回の短い時間ですが、部員数が少ないので、男女で手伝い合っ練習しています。経験者も初心者も、バレーボールがしたいという方なら大歓迎です。みんな仲が良いのでバレーだけでなく、夏には海や川へ行ったりとイベントも多く、大いに学生時代を楽しめますよ!」

- 年間の活動**
- 4月 花見、県大会
  - 5月 四国大学バレーボール春季リーグ戦、新入生歓迎会
  - 8月 合宿
  - 10月 四国大学バレーボール秋季リーグ戦
  - 11月 県大会
  - 12月 忘年会
  - 3月 追いコン
- 部活**
- 水曜 16:30~19:00(男子) 18:30~21:00(女子)
  - 金曜 16:30~19:00(女子) 18:30~21:00(男子)
  - 土曜 9:00~12:00(女子) 12:00~15:00(男子)
- いずれも常三島体育館  
■入部方法: 練習の見学・体験に来てください。

# 紹介 サークル

Introduction of circle  
[取材]

中国の青島大学出身の朱呈瞻と申します。二年前、専門の研究と臨床の勉強をするため、将来への期待と興奮を抱いて徳島に来ました。今でも、初めて徳島へ来たときのことをはつきり覚えていました。この二年間、いろいろな経験をしました。辛く苦しいこともありま

すが、日本の生活は楽しく充実しています。私の専門は消化器移植外科で、島田光生先生の下で研究を行っています。研究室の先生方は留学生に非常に優しく接してくださり、様々な方面から指導して下さいます。研究は難しくて大変ですが、

とても楽しいです。特に、良い実験の結果が出たときは大きなよろこびを感じます。今までに論文が一編ジャーナルに掲載され、現在2本目の論文を書いているところです。教授からいろいろなチャンスをいただいて、日本や中国での学会に何回か参加しましたが、そ

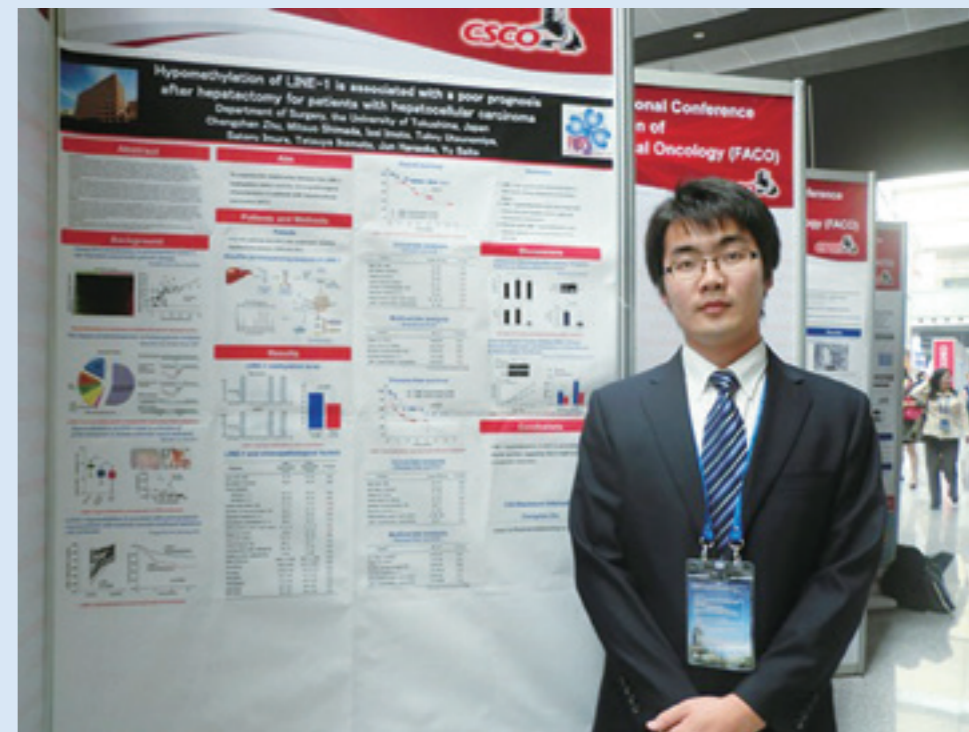
とでも楽しいです。特に、良い実験の結果が出たときは大きなよろこびを感じます。今までに論文が一編ジャーナルに掲載され、現在2本目の論文を書いているところです。教授からいろいろなチャンスをいただいて、日本や中国での学会に何回か参加しましたが、そ

What's happening?

# 徳島での楽しい生活

医科学教育部 医学専攻 博士課程 3年  
**朱 呈瞻** [中国]  
(シュ テイセン)

留学生  
滞在記



国際学会での発表

ここで非常に多くのことを学びました。昨年9月には中国の厦門(アモイ)で行われた癌の学会に参加し、ポスター発表をしました。今年の3月、韓国の国際学会でも発表をしました。これからもっと世界に目を向け、自分の視野を広げていきたいと思っています。徳島では研究以外の生活も充実しています。大学が主催する活動にも積極的に参加するようにしています。いろいろなところへ旅行に行きました。京都の伝統的な建物、大分の温泉、北海道の広さ、鳥取の砂丘にはたいへん驚き、とても印象に残りました。昨年の8月には研究室の先生方と阿波踊りに参加しました。みんなで踊ったりお酒を飲んだりしましたし、みんなの笑顔を見ることができて、非常にうれしかったです。



阿波踊り(本人左端)



高知への医局旅行(本人右)

逆に少しずつ緊張感が増しています。日本に来た目標をまだ十分達成していないので、もっと論文を書きたいし、臨床も見に行きたいし、今後さらに多くの努力が必要だと感じています。私は世界で活躍できるような立派な医者として研究者になれるよう、これからもっとがんばっていきます。